

# 学校給食センターに放射能測定器導入

合計3,000筆

## 阿寒病院の民営化反対署名

## 阿寒地域の有権者過半数を突破

昨年の12月中旬から始まった「阿寒病院の民営化の撤回」を求める署名が、1月23日、阿寒町の有権者過半数(約2千3百)を突破しました。当日から始まっ

た住民説明会に先立って、市長に署名簿が手渡されました。それなのに、市長は民営化の意思を変えるつもりはありません。さらなる闘いを必要です。



## 村上かずしげ通信

12/2/5 発行 共産党市議団

## 12月議会 市独自の放射能測定のために

## 測定機を買いなさい

昨年の12月議会の一般質問で、市独自に学校給食の食材の放射能検査を実施するよう求めました。それに対する市の答弁は、「市場に回っている食品は全て安全」「父母の不安解消のために、産地の公表はするが放射能測定はしない」というものでした。しかし、各地で食品の放射能汚染に対する不安が拡大、厚生労働省も食品の放射能の規制値を厳しくするなかで、釧路市は来年度予算に給食食材の放射能検査のために測定機械の購入予算を盛り込むことになりました。



測定器の購入は一步前進ですが、まだまだ課題があります。測定する食材は東日本の17都県産のものに限られ、道内産、西日本産は測定しない。学校給食の食材測定は行いが、保育園の給食をどうするのかは決まっていない。測定しても、国の規制値以内ならOKとするなら、機器を導入する意味はない。市独自の更なる規制が必要。

## 25億円の防災庁舎は本当に必要か？

来年度予算の目玉が「防災まちづくり拠点施設」です。市役所裏の駐車場に総工費は25億円で4階建の庁舎をつくります。最上階に電源施設と電算室を備え、津波等の浸水があったとしても電力を確保、防災本部の機能を維持するためということです。

市の負担が大きすぎる。もっと経費のかからない手法はないのか。ほとんど議会議論のないなかでの突然の提案。

防災庁舎の活用策さえはっきりしていない。などの問題があります。来るべき大規模災害に備えるのは当然ですが、ここは英知を集めた、冷静な議論が必要ではないでしょうか。

このチラシは政務調査費で作成しました。